



ごあいさつ

猛暑の候、ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。この度の改選では、会派全体で二万五千八十三票の得票で会派発足二期目は9名の議員の構成となり、大津市議議会第一会派となりました。

さて、令和2年度からの新型コロナウイルス感染症対策は五月から五類になり、ポストコロナ社会に向けた取り組みが進む中で、去る五月二十七日には長年の懸案事項であった中消防署移転新築起工式が執り行われるなど、市民が主役のまちづくりが着実に進められていくところでもあります。また、本六月通常議会においては、国の価格高騰重点支援地方交付金を活用した補正予算の審議に加え、新体制で各常任・特別委員会等が始まりました。

将来に夢と希望を持てる市政の実現を目指して、我が会派の理念とする「大津市を守り育て、更なる発展と市民の皆さまが安心して暮らせる県都大津の実現に向け」責任の重さと使命感を持って全力で取り組んでまいりる所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新和会 幹事長 八田憲児

会派理念

- 一、会員は、党派の枠を超えた政策で結集し、開かれた議会改革と市民のためになる行財政改革の推進に努める。
- 二、会員は、自立した議員として認め合い、専門性を活かした自由な調査・研究・議論を行い、相互の資質を高め政策形成を進める。
- 三、会員は、市民目線に立ち執行部との十分な議論を尽くして政策の実現を図るために協働する。



八田 憲児 錦織在住
はったけんじ
幹事長
「安心できる市民の暮らし」と「夢ある県都大津」をつくるため、今までに培った貴重な経験を活かし、正しい道徳心、倫理観、価値観を持ち、地域に根ざした活動に専念します。



伴 孝昭 中央在住
ばんたかあき
政調会長
前年度の市議会議長経験を活かし、今年度も子育て支援・高齢者福祉はもとより、市民の皆様が住んでよかったと思っただける将来を見越したまちづくりに取り組んでまいりますので、よろしくようお願い申し上げます。



幸光 正嗣 一里山在住
こうみつまさつぐ
この度、3期目の挑戦に当たりご支援をいただきました皆様に、心から感謝を申し上げます。初心を忘れず、これからも身近な議員として取り組んでまいりますので、引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



細川 俊行 日吉台在住
ほそかわとしゆき
副幹事長
市議二期目の挑戦がスタート。支持をいただいた皆様に感謝を申し上げます。皆様のご意見を市政に反映させるべく、スピード感をもって取り組みます。まずは教育の充実を。森林整備、地元道路河川整備、市民センターの充実などなど前進させたい。



笠谷 洋佑 真野在住
かさたによすけ
副幹事長
おかげ様をもちまして2期目の当選をさせていただきました。1期目4年間の経験と知見を活かし、より市民の声が届く市政となるよう、議会改革・行財政改革を徹底し推進してまいります！



細川 力男 本堅田在住
ほそかわりきお
事務局長
「生まれ育った郷土に恩返しをしたい！」市内の均衡ある発展、持続可能なまちづくりのため、大津市役所勤務31年間で得た行政経験をパワーに、様々な課題が市民の皆様にとって満足いくものとなるよう「力いっぱい」頑張る覚悟です。



田中 康博 伊香立在住
たなかやすひろ
広報委員長
サラリーマン人生から一念発起して、議員という立場での活動が始まりました。これからは地域の課題解決、地域の発展に向け、皆様の代弁者として誠心誠意努めて参る所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



井元 潔 山上町在住
いもときよし
副政調会長
この度、おかげさまで初当選させて頂き、ありがとうございます。今までの職歴、衆議院議員の地元秘書や平和堂のお惣菜コーナーの責任者としての経験を活かし、これからも暮らしの現場を支え、とことんまじめに取り組みます。



楽野 靖七 今堅田在住
くわのやすかず
幹事
皆様の声を真摯に受け止め「いつも【今】を大切に」をモットーに、誇り高さ大津市が元気で楽しい笑顔あふれる街づくりを目指します。地域のインフラ整備、スポーツ施設の整備や充実を重視し、健康促進と地域交流の絆を深める取り組みに努めます。

細川 俊行

総務常任委員会委員長 議会運営委員
Toshiyuki Hosokawa

森林環境譲与税を利用した森林整備について

Q 令和6年度からは森林環境譲与税の財源となる森林環境税の課税が始まるなか、森林整備の取り組み状況と課題、地元との協議について伺う。

A 今年度当初の基金の積立状況は、7,300万円。まずは、意向調査及び境界明確化事業の取組を始めているが、所有者の特定が困難なこと、また、境界が不明確な森林が多いことなどが課題である。また、今年度から市独自に、林業新規就業者支援給付金と林業労働力定着支援事業補助金を用意し人材の育成・確保を図っている。さらに、多くの森林所有者が課題を抱えており、地元地域との協議が不可欠と考え、必要に応じて対応していく。



幸光 正嗣

議会運営委員会委員長 総務常任委員
Masatsugu Koumitsu

小中学校における適切な健康診断 / 信号機のない横断歩道の安全確保について

Q ①教育現場における健康診断は児童生徒のプライバシーに配慮した、時代に見合った適切な健診が必要と考えるが本市の方針を伺う。
②信号機のない横断歩道は車両の一時停止が義務付けられているが、滋賀県では33.3%の停止と全国平均より低いのが現状であり、安全確保に向けた本市の見解を伺う。

A ①代表校医会で脱衣に伴う検査における協議がなされ、プライバシーに配慮した正確な検診や上半身裸で検診を行わないよう留意点を示めた。健康診断の現状を踏まえ実施方法など今後も工夫を重ねてまいります。
②地域団体との協力体制の強化、ドライバー・歩行者双方への遵法意識の啓発、注意喚起等を始めとする他市町の取り組み事例についても調査する。



笠谷 洋佑

公共施設対策特別委員会委員長 教育厚生常任委員
Yousuke Kasatani

予算にかかる情報発信のあり方について

Q 本市では、子ども子育て施策を最重要課題として推進しているが、現在の予算指標ではその総額や予算に占める割合が分からない。前年度との比較や一定の目標を定めるためにも、また市民がより理解できるよう、子ども子育て施策にかかる予算総額を把握し、発信する必要があると考え、見解を伺う。

A 特定の施策についてあらかじめ目標値を設定することは困難であるが、今後の施策推進のためにも予算総額を把握する必要があると考えており、当該予算について令和6年度当初予算よりお示しができるよう、今後取りまとめに向け検討してまいります。



井元 潔

施設常任委員 公共施設対策特別委員会
Kiyoshi Imoto

JR 湖西線の活性化、利便性向上に向けた本市の取り組みについて

Q 強風等による遅延や運休について、また本市北部4駅でのバリアフリー未整備の、本市からJRへの要望状況について。

A 強風等の対策は、JR西日本から、防風柵等を設置することにより負荷される風荷重などへの対応が課題であると同っており、引き続き協議を重ねてゆく。
またバリアフリー整備は、バリアフリー法に基づく「移動等円滑化の促進に関する基本方針」において、「高架駅等の高所に設置された鉄軌道駅」については、乗客の利便性と安全性の観点から、乗降客数にかかわらず、優先的な整備対象として追加されるよう、県と連携して国に対して要望を重ねてゆく。



田中 康博

総務常任委員 DX・デジタル化推進対策特別委員
Yasuhiro Tanaka

狩猟免許新規取得、ハンター育成への取り組みについて

Q 鳥獣害対策にあたり、狩猟免許新規取得者の数、実際にハンター活動されている人数の推移及び今後のハンター育成について伺う。

A 実際に有害鳥獣捕獲活動をされている人数は、令和4年度が101人、令和5年度が103人であり、毎年度、数人程度に新たに有害鳥獣捕獲活動従事を許可している。次に、今後の人材育成について、狩猟免許取得希望者への講習会受講経費の補助や、更新講習時に必要な実技試験を免除する証明書の交付、更には猟銃の適正管理及び事故防止等の安全講習会の開催などを実施している。



細川 力男

教育厚生常任委員会副委員長 DX・デジタル化推進対策特別委員
Rikio Hosokawa

市内中小企業・小規模企業振興に向けた取り組みについて

Q 市内中小企業・小規模企業振興に向けた取組として、昨年度実施された事業者ヒアリングで課題として多かった「人材の確保・育成」に対する支援について伺う。

A 若者の採用が難しい中、早い段階から市内中小企業の魅力に触れ、就職意識を高めることが重要であり、キャリア教育推進に向けた関係機関等との連携を進める。また、高齢者雇用や就業は企業が成長していく上で、企業活動を維持していく上で、大切な視点であり、就労意欲のある高齢者に寄り添った就労支援を行う。



栗野 靖七

生活産業常任委員 DX・デジタル化推進対策特別委員
Yasukazu Kuwano

スポーツ環境の整備と指導の充実について

Q 子どもから高齢者、障害のある方も安全に使える利便性の高いスポーツ環境整備について、企業との連携による施設運営、大学との連携によるスポーツ専門指導の充実をより積極的に推進していくべきと考え、見解を伺う。

A 企業の資金や、ノウハウを活用するPFI方式により施設を整備した実績があり、建設や運営にあたり知見を蓄積している。既存の施設についても今後検討したい。大学が持つ資源を活かした取り組みを実施しており、スポーツの楽しみ方や技量の向上などの指導を受けられる機会を提供し、今後もスポーツ指導の充実に努めていく。



■ 大津市認定こども園条例について ■

来年の令和6年4月から公立幼保連携型認定こども園がスタートします。公立幼保連携型認定こども園とは教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている単一の施設です。その第1号が大津市立比叡平こども園となりますが、それは、比叡平幼稚園とひえい平保育園が一つの施設を共用して使用し、幼稚園児及び保育所児の合同活動を行っている大津市独自の幼保一体化施設である「やまのこひろば」を幼保連携型の認定こども園に移行するというものです。

公立幼保連携型認定こども園になると

- 受け入れ可能な児童 ・3歳から5歳（1号認定こども：就労要件なし）
・0歳から5歳（2,3号認定こども：就労要件あり）
- 給食の提供 ・自園調理（すべての子どもに給食を提供）
- 長期休業期間中の保育 ・1号認定こどもなし ・2,3号認定こどもあり
（ただし、特別一時預かり事業として保育の必要がある子どもはあり）

伴 孝昭 元議長に感謝状



昨年度は大津市議会議長を拝命し、みなさまには大変お世話になりましたこと、心より感謝申し上げます。また、在任期間中は全国市議会議長会の理事を務めさせていただき、全国市議会議長会より感謝状をいただきました。 伴 孝昭

私たち新和会に皆さまのお声をお寄せください。



新和会 ホームページ YouTube チャンネル

ホームページからのご意見、お問い合わせもお待ちいたします。

